



【令和2年度学校教育目標】

確かな学力と豊かで健やかな心身を持ち 主体的・創造的に生きる子どもの育成

【学校経営方針】

人間尊重の精神を基盤とし、子どものいきいきとした姿を目指して守って攻め、認め、ほめ、励ましながら子どもの可能性を最大限伸ばす教育を前進させる



学力向上の取組

●今年度の校内研究では、新学習指導要領の完全十進を踏まえて、熊本の学び推進プランとあらおベーシックの推進を図り、「算数科の資質・能力の向上を目指して～「わかった・できた・もっとやってみよう」が生まれる授業づくりを通して～」と研究主題を設定し、児童の学力を向上させています。講師招聘の研究授業やICT研修を進め授業改善を行い学力が向上しています。



人とのつながりの場づくり～いじめ・不登校対策～

●5分間のランニングから1日がスタートします。たくましい体をつくり、粘り強くやり抜く心を育んでいます。縦割り班での活動も盛んで、日常の掃除を始め、時には仲よし班対抗のレクレーションに取り組んでいます。児童同士の交流を通して信頼関係を深めています。

今年度も不登校0人、不登校傾向0人です。全校児童欠席0人の日もめずらしくありません。



英語教育の日常化～Hirai English Day～

●「英語の日常化」の取組として毎週月曜日と火曜日を「Hirai English day」として、校内で、挨拶など習った英語をたくさん使い、耳にする日を設定しました。月と火の朝一番の校内放送は、総務委員会や放送委員会など児童の英語での放送です。どの子もはりきって練習してきてとても流暢に話すことができ、感心しています。また、給食の時間には英語の歌やこれまでの復習がCDで流れ、耳から自然と覚えられるようにしています。



地域とともに学習作り

平井小学校では地域とともに学習を各学年や全校で進めています5年生の田植え、稻刈り、刈り干し体験や3年生の梨農家の労働の尊さとなし狩りの学習。地域の孝女津麻子さんについて感銘を受けることもあります。見守り隊や丸付けボランティアさんなど地域のおかげで平井小は笑顔まんかいです。



新型コロナウイルス、猛暑対策



(有明新報8月20日)

登校中の熱中症対策として、全児童に「アイスタオル」を購入して配付しました。水に浸して絞り空中で振って首に巻くと涼感とともに体温の上昇を抑え、熱中症対策となる速乾性タオルです。登校後は、毎日登下校で使用させましたが子どもたちの感想も上々でした。